事例No.	2132
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	愛知県豊橋市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・福祉・介護 ・ICT

事例種類	教育

事例内容・タイトル

分身ロボットを活用した入院等をしている子どもの教育機会の提供

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

152 分身ロボットを活用した入院等をしている子どもの教育機会の提供【愛知県豊橋市】

事業の概要

○　豊橋市では、入院等により学校に通えない子どもの学習支援や心のサポートを行うため、分身ロボット（「OriHime(おりひめ)」）を令和元年7月から活用している。

○　「OriHime」は、カメラ、マイク、スピーカーが搭載されたロボットであり、インターネット環境下であれば、離れた場所から操作することができる。教室に「OriHime」を置き、児童・生徒が病院等からタブレット端末を操作し、「OriHime」を介してコミュニケーションをとることで、リアルタイムで授業に参加することができる。



【参考情報①】 人口：37.5万人
関連URL：　ー

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



身体的、精神的な理由で教室に足を運べない子どもが、もう一つの身体である分身ロボット「OriHime」を教室に置き、他の友だちといっしょに授業等に参加することで、孤独感が和らぎ、心のケアになると考えました。

（豊橋市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



分身ロボット「OriHime」の導入に当たっては、内閣府の地方創生推進交付金（令和元年度から３年間）を活用しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



分身ロボット「OriHime」の利用は、インターネットへの接続が必要です。実際、当市では、院内学級へのインターネット回線の導入や、貸し出し用のモバイルルーターを用意したことで、円滑な利用を促すことができました。

★担当：豊橋市教育委員会 学校教育課★

令和3年度事業費　396千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　198千円）